

STAR

屋外用

バイオ式生ごみ処理機 バイオクリーン

BS-02型

～上手な使い方のポイント～

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ここでは、本製品の上手な使い方について、取扱説明書から抜粋して掲載しています。

ご使用の前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

生ごみの投入は1日2kgまで

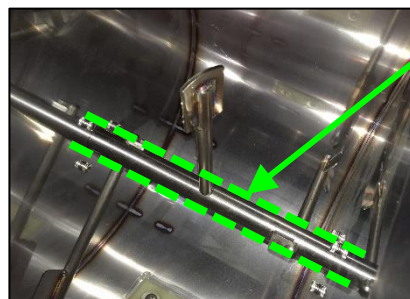
- 規定量以上の生ごみを投入すると、処理能力低下や故障の原因となります。

水や油は切って投入

- アシドロ®基材が水分・油分過多の状態になると、基材が固まり処理能力低下の原因となります。

基材を増やしすぎない

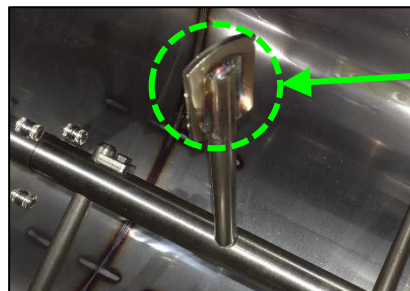
- バイオクリーンを使用していると、基材の量が少しずつ増えてきます。
- 基材が増えすぎた状態で使い続けると故障の原因となります。写真を参考に、増えた基材を取り出してください。



メイン
シャフト

【適切な基材量】

基材量は、メインシャフト（処理槽内の横棒）が少し見える程度が適切です。



攪拌棒の
羽根

【基材取り出し時期】

攪拌棒が垂直に立ったとき、羽根が隠れるくらいまで基材が増えてきたら、基材取り出し時期です。適切な基材量の写真を目安に基材を取り出してください。

排気フィルターが目詰まりをチェック

- 排気フィルターが目詰まりしますと、処理槽内の湿気が排出されず、分解能力低下の原因となります。排気フィルターはこまめに清掃してください。

基材はしっかりとった状態がベストです

- 使い始めてしばらくの間はアシドロ®基材が乾燥しやすく、微生物の活動が低下してニオイが一時的に強くなったり、基材が処理槽の壁にこすれて摩擦音（ゲー、キューなど）が発生したりすることがあります。このようなときは、水を1～2リットル投入して基材を湿らせてください。

排気ホースの曲がりに注意

- 排気ホースの先が上を向いていると、ホースの中に水がたまって排気が詰まり、アシドロ®基材が水分過多になることがあります。
- 排気ホースを使用するときは、ホースの先を下を向くように取り付けてください。